

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2018.07 >

BULLETIN

2018年7月～2019年6月



国際会長	Moon Sang Bong「私たちは変えられる／挑戦への勇氣」(韓国)
アジア会長	田中博之「アクション／誇りと喜びを持って」(東日本区)
東日本区理事	宮内友弥「為せば、成る／ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長	衣笠輝夫「良いものを見つけ、つなげて、よくなろう」(埼玉)
クラブ会長	佐野 守「希望を持って前進」(グリーン)

会 長 佐野 守
副 会 長 西澤 紘一
々 浅見 隆夫
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
副 会 計 浅見 隆夫
担当主事 木村 卓司

7月

主は、わが牧者なり、我乏しきことあらじ

主は、我を緑の野に伏させ

憩いの水際に伴いたもう。

詩編 23 篇

2018年07月 キックオフ 例会

日時:2018年07月18日(水) 18:30～20:30

場所:東京YMCA東陽町センター YMホール

江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565

受付:樋口君/司会:布上君

開会点鐘 佐野会長

ワイズソング・ワイズの信条 全 員

聖句・お祈り 古 平 君

ゲスト・ビジター紹介 佐野会長

食事 (一言添えてニコニコ献金)

ゲストスピーチ 東京YMCA東陽町センター

沖 利柯 館長

タイトル「YMCAでの歩みの中から」

神田川関連報告 目黒君

YMCA 情報 木村君

Happy Birthday<7月 新倉メン・塩入(特)メネット

布上(信)メネット>

ニコニコ発表 浅見ク君

閉会点鐘 佐野会長

* 今月7月のキックオフ例会から会場は東陽町の
YMCAホールに変更になります。ご注意ください。

* 今期も第二水曜日の役員会は和泉橋会館です。

希望を持って前進

会長 佐野 守

今期、グリーンクラブの会長を務めます。会長職は久しぶりなので、すべてクラブメンバー、役員の皆様のご協力を得てクラブ活性化に努力します。

メンバーの高齢化問題はありますが45周年を経て新しい一歩を踏み出しました。

クラブのCS事業「神田川船の会」は最近増えてきた隅田川、東京湾のクルーズのモデルになっています。「元祖」として恥じないように充実してゆきます。

YMCAのサポートは重要な課題です。一層充実してゆきます。また、前会長の主題「親睦なくして奉仕はない」の気持ちは継続です。

2020年はオリンピック・パラリンピックの東京開催。これから大いに盛り上がっていきます。私個人はパラリンピックのために毎日多忙です。障がい児のスポーツ振興に関わっています。障がい児が明るく、楽しく行動できるように指導を続けています。今年はボランティアの募集が始まります。どんな形でも2020年の大きなイベントに関わっていきたいと思います。

ワイズの行事、会合では可能な限り参加しますが、メンバー、役員の皆様の支援を期待しております。

【例会出席率】 在籍:18名 メーキャップ 2名 出席率 12/18 67%

出席:6月(メン11名、メネット1名)計12名

【ニコニコ】 6月例会 21,000円 累計 104,000円

＜2018年06月 第一例会 報告＞

日時:2018年6月20日(水) 18:30~20:30

場所:和泉橋千代田区民館2階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・木村・佐野
高谷・西本(東)・布上(征)・樋口・森川・布上(信)

今期最終の例会はこの1年を振り返って一言、という内容でメンバー・スピーチを出席者全員、席順にお願いした。なお、今日の例会司会は立派に初仕事の森川メン。以下に出席者皆さんのお話を記しましょう。



スタートは浅見クミ子メン。
6月の巻頭言にある通り主人の片付けに倣って自分も始めました。本当に子供たちには役立たないものばかり、大量の不要物を処分し、家の中はとてきれいになりました。新規スタートです。



今月の巻頭言に書きましたが、今期は会長として頑張ります。前期、私個人的にはとても多忙で、パラリンピックの関連で障がい児のスポーツ指導で明け暮れました。2020年にむかって一層忙しくなりますが、皆さんご協力を。(佐野)



就任2ヶ月ですが、例会、神田川船の会、東日本区大会、と楽しく過ごさせていただきましたありがとうございます。神田川の乗船者をYMCAの中で増やしていく方法を考えていきます。(主事 木村)



立教母校の学Yの会長をしています。「杉原千畝のひとり芝居」イベントを開催して母校OB会の活性化を図りました。若い諸君が増えてきて、学Yの会員も70名になりました。良い事です。個人的には白内障と難聴を抱えています。(高谷)



体調が芳しくなく病院通いの1年でした。45周年を立派に開催して本当に良かったです。神田川の乗船者開拓は、個人レベルよりも、田園調布のような学校関係にアタックしてみたいと考えています。柿沼)



4月から再入会しました。まだ一部現役でもあり、余った時間の使い方を考えていますが、真の働き方改革って何だろうかを追及しそれを実践する努力をしています。もちろんクラブのため、ワイズのためにしっかり働き、奉仕します。(樋口)



私事で恐縮ですが会社も順調、創立50周年も催した。さらなる発展を目指したい。クラブでは久しぶりに5月開催の神田川に参加した。今後も出来る限り例会、行事に出席していきたい。(西本)



体力の衰えを感じる毎日です。2年間の会長のお役目も辛かった、今期は暫く休養させてください。6月の巻頭言通り。別件、YMCAの午餐会にもっとみんなで興味を持って参加するようにしてほしい。とても為になるお話が多いので。

(浅見)



最近孫の面倒を見ていますが、疲れますね。あと1年は我慢です。また、浅見家の身辺整理のお話を伺って私もそろそろと考えています。ワイズでは東陽町とYMCAのチャリティーランに関して委員として頑張ります。(青木)



45周年で盛大に入会式をやっていたいてありがとうございます。えらいところへ入ったなあ・というのが実感です。ヒマと体力はいくらでも提供しましょう。皆様についていきますのでよろしくご指導をお願いいたします。(森川)



前期はメネット主査を務め、なんとか区大会のメネットアワーでお役目を終えました。クラブの皆様のご協力に感謝いたします。今年は干支の歳。やはり年齢を感じます。(布上)



毎月初めに取り掛かるのはブリテンの内容です。他クラブのものもよく読んでいます。一人で作っているとマンネリになります。是非、皆様のアイデアで面白そうな原稿をいただきたいと思います。新規スタート、気合を入れてまいります。(布上)

＜6月例会に欠席のメンバーを下記にご紹介＞



古平



西澤



新倉



塩入



西本



平林



目黒
早瀬



(布上 記)

2018年6月 第二例会報告【6/20 例会配布】
 18年6月13日(水) 18:30～千代田区和泉橋区民館
 出席:青木・浅見T・浅見K・柿沼・佐野・布上・目黒・木村
1配布資料

- ①東京むかでクラブ
 「南極越冬隊員の実話物語を聞こう」チラシ
- ②クラブ6月ブリテン初稿 pdf 最終校正依頼

2. 報告・連絡事項

- ①東日本区大会報告(6月2日～3日)
 参加者 青木・浅見T・柿沼・木村・佐野・布上・平林・
 布上(メネット)
 *年次代議員会年次報告 浅見会長より詳細報告
 *年次代議員会議案報告 ”
 *公式事業登録費半額補助
 *担当主事登録費支出
- ②CS事業 第77回「神田川船の会」報告(5月12日)
 目黒実行委員長 報告
- ③CS事業 アンダーゴルフ報告 東雲グランチャ
 (5月18日)浅見T・古平参加 13名の参加
- ④CS事業 田園調布学園「神田川船下り」
 報告(6月7日)目黒委員ブリテン記事参考
 *来年から出発地を三浦屋さんに変更検討する
- ⑤東京YMCA 会員芸術祭報告
 (5月19日オープニング 5月21日～26日)
- ⑥東京YMCA 会員大会報告(5月26日)
 共に詳細はブリテン記事参考
- ⑦次期グリーンクラブキャビネットの件
 会長 佐野 守
 副会長 西澤紘一 浅見隆夫
 書記 布上征一郎
 会計 柿沼敬喜
 副会計 浅見隆夫
 ・各委員会委員長はほとんど留任

3. 審議・協議事項

- ①7月例会【東陽町】キックオフ卓話
 沖 利柯 東京YMCA 東陽町センター 館長
- ②熱海クラブとDBC締結の件
 *DBC 京都パレスクラブとトライアングルの件
 *DBC 京都パレス川上孝司部長 2018年9月9日
 京都部部会・・・参加検討する
- ③東京むかでクラブ6月特別例会の件
- ④その他
 8月第一例会は納涼例会です。今月は日程変更、
8月22日(水)納涼例会「秋葉原ライオン」にて開催
 JR秋葉原電気街口下車、すぐ前にライオン、地下
 10月卓話者:樋口メン 紹介
 青木勝彦氏「私の追憶の名画」決定
 ***** **口座変更** *****
 クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
 (2018-19年度 会計:柿沼敬喜)
 京葉銀行 こてはし台支店
 店番号 435 (普)6614121
 口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ
 会計 柿沼敬喜

関東東部ワイズメネット事業主査を終えて



区大会メネットアワー会場にて

2017年11月25日(土)大村知子ワイズメネット委員長をはじめ、委員の方々と一緒に横浜でワイズメネットのつどいに参加、プチマルシェや絵本献金を行いました。
 6月2日(土)の東日本区大会(沼津)、ワイズメネットアワーでは司会を仰せつかり、各事業報告発表を伺いました。井上優子次期ワイズメネット委員長(もりおかクラブ)への引継ぎもなされ、次年度に向かった新たなスタートになりました。
 6月6日(水)には各YMCA施設への絵本の発送と、それぞれの事業を無事に終えることが出来ました。
 今期(17-18年度)、関東東部の多くのメン・メネットの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。
 メネット会はなくても、ワイズメネット事業が続けられます内はメン・メネットのご協力が必要と思われます。
 今後ともご支援を頂けますようよろしくお願い申し上げます。
 (布上信子 記)

2017-18年度 東日本区大会グリーンクラブ表彰



今回の区大会で受賞は「ブルリング収集優秀賞」で、東京ベイサイドクラブ(200kg)に次ぐ第二位の76kgでした。とても敵いませんね。
 また、EMC-M努力賞として会員増強2名獲得の賞をいただきました。
 なお、献金事業7種すべてに達成賞をいただきました。
 (CS・ASF・FF・BF・TOF・RBM・YESの7種)
 ハンドロップ賞(退会者ゼロ)

を狙っておりましたが、残念ながら達成できませんでした。今年度は新・旧、クラブメンバー・メネット全員が和気藹々、ドロップの無いように、絆を深めてまいりましょう。

Happy Birthday

- 7月 新倉健司(メン)
- 塩入淑子(特別メネット)
- 布上信子(メネット)

フリテン図書室

YMCA コーナー

第48回「空飛ぶタイヤ」上・下 池井戸潤 著

講談社文庫2018年



2002年に起こった悲劇的な自動車事故がテーマ。三菱自動車製のトラックの前輪が運転中に外れて、運悪く歩道を歩いていた母子を直撃した。子供は助かったが母親が死亡するという悲劇が起こり当時の新聞の社会面もにぎわした。この小説では、事故を起こした

運送会社の社長赤松が、事故原因が運送会社の車の整備不良とされたことに疑問を持ち、車の構造的欠陥であることを自力で突き止める物語である。財閥系の巨大自動車会社、ホープ財閥系のホープ自動車と仮名にしてこの物語はセミドキュメンタリー風に展開してゆく。当時ホープ自動車は3年前にリコール隠しをして監督官庁から指弾を受け、客離れを起こしていた。赤松の運送会社は父から引き継いだ典型的な中小企業であった。車検をしたばかりの車であったにもかかわらず整備不良との烙印を押されて、刑事責任と同時に民事責任も問われることになり、家族への風当たりもきつかった。一方、ホープ自動車内では、責任逃れ、セクショナリズム、出世競争が横行しており、会社の将来や顧客への責任感などはみじんもなかった。

しかも経営が行き詰まればいやでも財閥系の銀行が救ってくれるとの親方日の丸意識が抜けなかった。やがて事故原因が構造的欠陥であることが判明しても会社はリコール隠しに徹して赤松に責任を転嫁するばかりであった。赤松は、状況証拠をコツコツと集めて事故原因が自動車会社側にあることを付きつけるが、会社側はあらゆる証拠を隠滅しており、赤松はその証明が不可能であることを知る。救いは、セクショナリズムによる怪我の功名ではあったが、ホープ自動車会社の中の一営業部員の内部告発であった。もし内部告発がなければ永遠に真相は世間に知られないで済んだであろうと思うとゾッとする。

昔の日本の職人は、誰も気が付かないであろう細工の裏の裏にまで丁寧に手を入れて凝ってきた。手を抜かないことが職人の良心であり美德でもあった。品質管理が徹底されて効率一辺倒になった昨今、知らなければ何をしていても良い。外部に見えるところだけは手を抜かない見かけ第一主義になり下がってきたのではないかと問いかけられている。2009年にWOWOW(有料視聴)でTVドラマ化されたが、スポンサーのご機嫌をうかがうことのないチャンネルであればこそその放映であったと言う。今現在でも隠された真実がまかり通っていることを憂う。

(西澤紘一 記)

池井戸潤の本はTVドラマで観ています。「下町ロケット」「陸王」そしてこの「空飛ぶタイヤ」も泣かせどころ満載でした。このドラマの準主役俳優、ホープ自動車常務役の<國村 隼>の渋さ、貫禄は最高ですね。(布上 記)

▼ YMCAの誕生日である6月6日に、世界のYMCAで一つのアクションを起こす「ワールド・チャレンジ」が今年も実施されました。今年のテーマは“Run to the YMCA World”で、世界各地のYMCAにおいて歩いた距離をフェイスブックに投稿し、その総計が世界中のYMCAを繋いだ距離およそ12万kmに届くことに挑戦しました。日本全国のYMCAでは、ユースが中心となり企画し、6月2日～15日の実施期間を設け、東京からジュネーブ(スイス)までの9,600kmを目標に取り組みました。東京YMCAでは、インターナショナルスクール(TYIS)やキッズ英語、各保育園やコミュニティーセンターで、主に子供たちが歩いた距離を集計して参加しました。

▼ 山手会館は耐震補強工事と館内リニューアルのため、7月中旬から段階的に改修工事を実施します。地下プールは7月中旬から8月下旬まで工事が入り、9月に再開予定。国際ホテル専門学校、高等学院、山手コミュニティーセンター主催の各種活動、山手学舎は、9月から2019年3月まで、それぞれの移転先で事業を継続します。

▼ 新規プログラム「にほんご de café」が9月から東陽町コミュニティーセンターでオープンします。

日本に来て「日本語」に困っている方を対象にお茶を飲みながら日本語を楽しく学びます。東京YMCAにほんご学院の学生や東京YMCAインターナショナルスクール(TYIS)の保護者など、多くの国や地域の方と楽しい時間を過ごす予定です。日本語でお話するボランティアも募集中です。

日程:2018年8月25日(土)13:30～15:30 プレオープン
9月6日(木)～毎月第1・第3木曜日 13:30～15:30 オープン 場所:東陽町コミュニティーセンター

▼ 「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」パネル展

広島・長崎原爆の日や終戦の日を迎える8月に、今一度平和の大切さ、一人ひとりの「いのち」を守るものの大切さを考える機会になればと願い、広島市の原爆資料館所有の「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」のパネル展を開催いたします。原爆の投下から、その被害、人体への影響、廃墟からの復活、被爆者の声など貴重な資料です。

日程:2018年8月6日(月)～8月10日(金)

場所:東陽町コミュニティーセンター

▼ 今後の予定

・夏まつり 8月25日(東陽町センター)

グリーン参加: フランクフルト焼き模擬店を出店

・国際協力一斉街頭募金 9月15日(新宿駅周辺)

・第32回インターナショナル・チャリティーラン

9月23日(都立木場公園)

グリーン参加: 場内警備&荷物預かりを担当

(主事 木村卓司 記)